

# KTCC NEWS

26号

2022年3月

## 受け入れ企業インタビュー 〇兵庫県K社〇

受け入れ…2016年  
実習作業…溶接  
国籍…ベトナム



写真左から  
ティンさん、ハーさん、ドックさん、チーさん

昨年11月、兵庫県K社を訪問しました。我先にと出迎えてくれたのは、K社の看板犬リリーちゃん。しっぽをフリフリ、体をスリスリ、熱烈大歓迎です。噂に聞いていた以上の可愛さに、お土産のおもちゃを持参しなかったことが少し悔やまれました。



リリーちゃんに次ぐ出迎えは、今回の訪問を快諾して下さいましたM社長です。リリーちゃんのおかげで緊張がほぐれていた組合スタッフ。案内いただいた応接室で挨拶を済ませた後、和やかな雰囲気の中で、まずは実習生受け入れのきっかけについて伺いました。6年ほど前、技能実習制度について何度か説明を受けるうちに徐々に興味を持ち、利用を決めたそうです。社員の皆さんも「いい

んちゃうかな」と好意的。あまり負いせず、「とりあえずやってみよう」というスタートでした。

実際に受け入れた後のことについて質問すると、「現場の者から聞いた方がよいのでは？」とM社長からのご提案。そして、実習生と接する頻度の高い2名の方にもインタビューに参加いただくこととなりました。その内容をQ&A形式で紹介します。



### Q 職場の雰囲気に変化は？

A 想像以上によくなりました。彼らは元気に「こんにちわ」「ありがとうございます」と挨拶をします。お客さんにも「今まで感じたことがないくらい社内の雰囲気が良い」「彼らのおかげで気分がよくなる」と言われました。とても人懐っこいので、みんなにかわいがられていますよ。

### Q 仕事に対する姿勢は？

A やる気があり、よく頑張っています。ベトナムで5年間の溶接経験がある実習生がいるのですが、その技術が日本では使えないというのを知り、悔しさから泣いていました。溶接は2年3年程度で一人前にはなれません。しかし彼はそこから一生懸命技術習得に励み、今ではもう職人並みです。彼は本当によく頑張った！ほかの実習生も日本人と変わらないくらい上達しています。

### Q 印象的なエピソードは？

A スズメバチの巣を持ち帰って、蜂の子を食べていました。日本でもそういう文化はありますが、その時はさすがに驚きましたね。

### Q 日本語力は？

A 事務員さんとのやり取りでも普通に話しています。社員が日本風の冗談を教えるのでおかしなことを言う実習生もいますが(笑)すっかり関西人ですよ。少し手が空いた時など、現場でもよく勉強しています。日本人でも難しいJIS規格の溶接資格試験にも合格しました。試験はもちろん日本語です。「免許があれば仕事の幅が広がる」という目的意識をきちんと持っていたからではないでしょうか。給料も上がりますし。

最後にM社長は、受け入れを検討中の企業様に向けて、次のようなアドバイスをくださいました。

「大切なのは親身に接することです。悪いことは悪いと伝え、危険な時には厳しく指導。でも最後は『お疲れさん』と笑顔で締めくくる。そうすると彼らも我々のことを信頼してくれます。外国人だからと壁を作らず、こちらから心を開いていくべきです。」

国籍の壁を取り払い、まるで家族であるかのように接してこられたことが、実習生受け入れ成功の秘訣だったのではないのでしょうか。お忙しい中インタビューにご協力いただきありがとうございます！



見守って下さる会社の方々と一緒に。

## 組合スタッフの声

ハン(カスタマーサポート)



ハンと申します。2007年にベトナムより来日しました。相手に合わせて楽しむことができる自分の性格が大好きです。ちょっと忘れっぽいところがあるので、ミスをしないよう工夫をしながら仕事に取り組んでいます。

私の主な仕事は「①実習生の指導」「②企業様と実習生の橋渡し」です。①では、自分自身がしっかりと内容を理解することはもちろん、実習生がきちんと理解できたかどうかを見極めなければなりません。指導の後には、本人に必ず確認するようにしています。②では、一方だけに肩入れをせず、双方のニーズや希望を汲み取り、皆が納得できるような方法を見つけるよう心がけています。

この仕事には、様々な知識の習得が必要です。制度の詳細、業務に関する知識等、その範囲は多岐に渡ります。毎日が学びの場です。また、色々な方と関わっていく中で、人の話をしっかりと聞いて考える力が養われました。

やりがいもたくさんあります！企業様から様々な相談を受けること、信頼を得ることができたのだと実感できます。実習生の成長を感じたり、実習生から「ありがとう」と言われたりすることも、モチベーションアップにつながりますね。「ハンさんがいたら安心」だと思われような頼れるカスタマーサポートになれるよう、これから頑張ります。

## トラブル事例

A社の寮では、共同キッチン以外での調理器具の使用を禁止しています。ところが、組合スタッフが寮を訪問した際に、自室で使用した形跡を見つけました。本人に確認したところ、キッチンを使用するの1時間以上待たねばならず、つい使ってしまったとのことでした。火災発生の危険性が非常に高く、他の寮生の財産や人命の危険にもつながるため、ルールはきちんと守るよう指導しました。調理器具は、いったん寮の事務所で預かることとしました。

A社でのルール違反は今回が初めてではなく、数回繰り返されています。恒常的に順番待ちが発生していることが原因で、最大で3時間待ちになることもあるようです。実習生の言い分も理解できず、A社に対しては、順番待ちが改善されるような対策をお願いしました。

## 実習生紹介



フォンさん(写真右)ベトナム  
2020年12月入国  
三重県K社・電子機器組立て

明るい職場で会社の皆さんや同僚に支えられながら、楽しい毎日を送るフォンさん。3年間の実習が終わったら、さらに5年間特定技能で働くことが目標です。なるべく日本人と話す努力をした結果、日本語での説明をだいぶ理解できるようになりました。しかしまだ、話すスピードや方言には苦労しているそうです。

プライベートでは、買い物や旅行を楽しんでいます。近い所では名古屋、少し足を延ばして大阪・奈良へも行きました。次は東京へ行ってみたいと夢を膨らませます。

～ 世界の人々に日本を好きになってもらう ～

協同組合関西技術協力センターは、2002年に設立された外国人技能実習制度における受け入れ監理団体です。2019年には特定技能制度における支援機関として登録されました。教育・各種サポートは、受け入れ企業様に好評を頂いております。「日本企業と諸外国との架け橋になりたい」「日本で成長した若者を世界中に増やしたい」そのような想いで日々活動しております。「何の知識もないけれど…」「実習生と直接話してみたい」等々、お気軽にお問い合わせください。

Kansai Technical Cooperation Center  
協同組合関西技術協力センター  
一般監理団体/登録支援機関

発行・お問い合わせ 大阪本部 広報課 TEL:06-6333-2373 (平日9時~18時)

大阪本部 〒561-0832 大阪府豊中市庄内西町1丁目3番15号  
名古屋事務所 〒453-0013 愛知県名古屋市中村区亀島2丁目14番10号フジオビルディング4F  
広島事務所 〒730-0051 広島県広島市中区大手町3丁目8番1号 大手町中央ビル10F



本部外観

